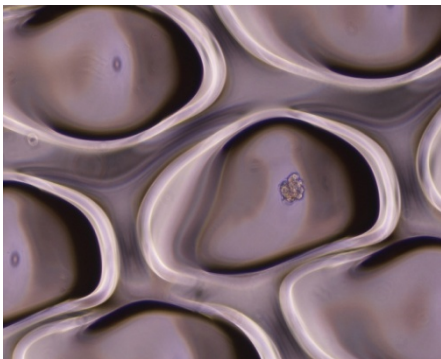
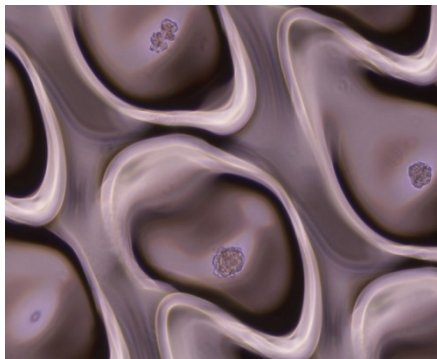
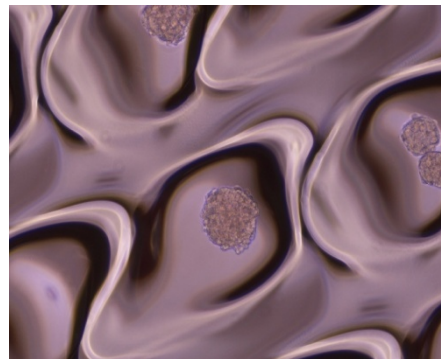
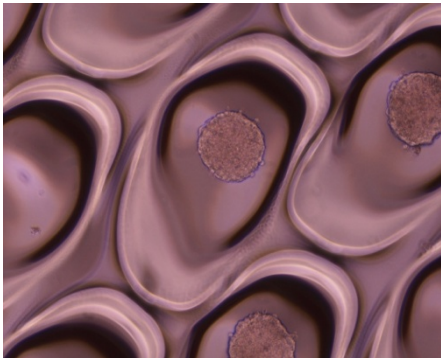
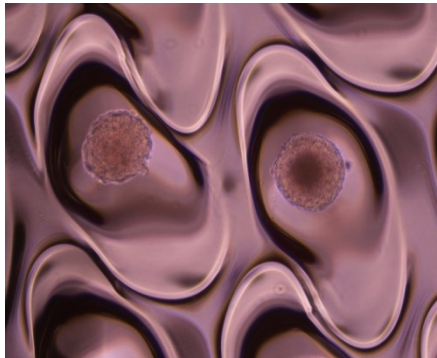
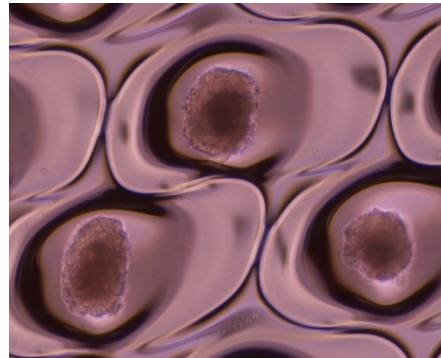


EZSPHERE®を用いたHepG2細胞のスフェロイド形成

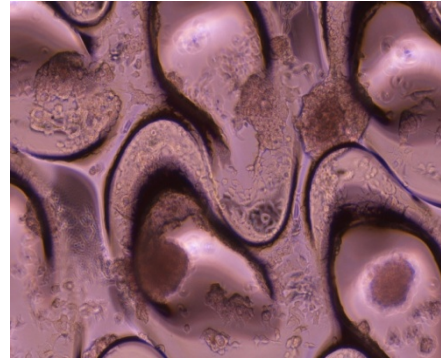
EZSPHERE®培養容器中でのHepG2細胞のスフェロイドの経時変化を観察

- 細胞種： Hep G2細胞（ヒト肝臓がん由来細胞株）
- 培養容器： EZSPHERE® 100mmDish（品種コード：4020-900）
100mmDish1枚中のEZSPHERE®のwell数は、約14,000wells
- 培養方法： 細胞数 5×10^4 cells/培地10mL/Dishにて、細胞を播種。（10%FBS-DMEM培地）
※EZSPHERE®の1well中の細胞数は、約3.6 cells/well となる計算。
培養7日目に 培地10mLを追加。

<細胞観察>

培養2日目 スフェロイド径 約60 μ m培養4日目 スフェロイド径 約95 μ m培養7日目 スフェロイド径 約170 μ m培養10日目 スフェロイド径 約190 μ m培養13日目 スフェロイド径 約205 μ m培養16日目 スフェロイド径 約235 μ m

対照：培養16日目 非接着コート無し



EZSPHERE®培養容器中で、HepG2細胞はスフェロイドを形成し、形成されたスフェロイドは培養日数が長くなると、徐々に大きくなっていった。各wellほぼ同じ大きさのスフェロイドが観察できた。非接着コート無しの対照wellでは、well内に細胞が接着してしまい、キレイなスフェロイドが形成出来なかった。

※各観察日において、数wellの写真を撮影し、画像データよりスフェロイドの大きさを算出。